

<u>CLASSE:</u>	文学講読 プルーストを読む LePS-61
<u>Jour:</u>	土曜日
<u>Horaire:</u>	13:30-15:20
<u>Niveau:</u>	B1
<u>M./Mme:</u>	M. Satoshi FUKUYAMA
<u>Objectifs:</u>	フランス20世紀文学の最高峰に位置するプルーストの作品を、じっくり読み解いていきたいと思ひます。 作品の全体に配慮しながら、全部を読み上げることを目標にしています。
<u>Descriptif:</u>	<p>第2巻『花咲く乙女たちのかげに』の第1部「スワン夫人をめぐる」を継続して読みます。</p> <p>いよいよ「スワン夫人をめぐる」の章も大詰めを迎えつつあります(あと2,3学期で終える予定です)。スワン夫人とその娘ジルベルトとの関係の総括ともいえる箇所です。とりわけ、今学期は、おもにジルベルトとの失恋を契機に恋愛論が語られます。青春の歓びに満ちた「花咲く乙女」への橋渡しとしても読みごたえのあるページが続きます。</p> <p>できうる限り丁寧に文法の解説をしつつ読み進めます。事前にお当てしておいた生徒さんに訳していただきながら、みなさんとともにあれこれと考えていくスタイルをとっています。プルーストの思想と文章を形作ったさまざまな歴史的な背景、文化的な要素を抽出していくことにも意を用いています。</p> <p>ころざし高く『失われた時を求めて』にチャレンジしても、第1巻で挫折したというのは、もはやプルーストあるあるといってもよいでしょう。第2巻『花咲く乙女たちのかげに』の興味深い箇所にさしかかります。新規に参加するにはちょうどよいかもしれません。この未知のゾーンをいっしょに体験してみませんか？これを機にぜひご参加を、お待ちしております。</p>
<u>Matériel:</u>	Marcel Proust : <i>A la Recherche du temps perdu</i>, Gallimard, Pléiade (プリント配布)
<u>Remarques:</u>	